

2023年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
選択ダンススキル10											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	IYO-P			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
舞台・コンサートツアーにて振付師・ダンサーとして活動中。Bugs Under Grooveメンバー。ミュージカルでは 新テニスの王子様・テニスの王子様・あんさんぶるスターズ！！・ノスタルジックワンダーランド・しゃばけpresentsシャイニングモンスター 他、ライブでは安室奈美恵・華原朋美・関ジャニ∞・ジャニーズWEST・LE VELVETS・MAMAコンサート・石丸幹二・松下優也・米米CLUB・渡辺美里・藤井隆・SMAP 他、ダンサー、振付師として活躍。・											
授業概要											
この科目ではJAZZダンス中上級のダンススキルの強化を行います。基本動作（プリエ、タンジェ、ルルベ、ロンデジャンプ）からターン、クロスフロアの動作を理解したうえで振付を通して表現力を学びます。またプロダンサーとしての様々な楽曲に対してのアプローチ方法や、技術的、表現力的な対応力を養う事を目的とします。											
到達目標											
この科目ではバックダンサー、テーマパーク、ミュージカル等オーディション対策となるJAZZ基礎の強化およびJAZZダンス中上級のコンビネーションの習得を目標とします。エンターテインメントの世界で最も必要とされるJAZZダンスの基本動作を理解した上で、学生それぞれの個性を表現できるダンサーとしての軸を強化します。											
授業方法											
この科目では毎回エクササイズ、ストレッチによる基礎体力作り、クロスフロアを中心とした基本技術練習を行います。そのうえで振付けによるコンビネーションや表現練習を細かく指導していきます。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
ストレッチ、授業で習った動きの復習をした上で授業に臨む事。体のラインが解る服装で受講する事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	JAZZ基礎の確認①/プロダンサーガイダンス（ストレッチとエクササイズ、体幹トレーニング）										
第2回	JAZZ基礎の確認②/基本動作（プリエ）と気を付けるべきポイントを押さえる										
第3回	JAZZ基礎の確認③/基本動作（タンジェ）と気を付けるべきポイントを押さえる										
第4回	JAZZ基礎の確認④/基本動作（パッセバランス）の演習と修得										
第5回	JAZZ基礎の確認⑤/基本動作（ルルベ）の演習と修得										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
選択ダンススキル10	
第6回	JAZZ基礎の確認⑥/基本動作（ロンデジャンプ）
第7回	JAZZ基礎の確認⑦/ターンコンビネーションの実演及び表現の研究
第8回	クロスフロアーの確認①/（ピケ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第9回	クロスフロアーの確認②/（にシエネ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第10回	クロスフロアーの確認③/（ピルエット）使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第11回	クロスフロアーの確認④/（アクセルジャンプ）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第12回	クロスフロアーの確認⑤/（ジャンプ&ターン）を使ったクロスフロアーの動作を理解し、実践・習得する
第13回	クロスフロアーの確認⑥/ピケ〜ジャンプ&ターンまでの連続動作を実践・習得する
第14回	応用コンビネーション①-1/基本動作およびクロスフロアーを用いた振り付けの習得
第15回	応用コンビネーション①-2/振り入れおよび歌詞、表現方法指導を理解する